

# シラバス (外国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	学年	1	類型	商業科
単位数	3	教科書	Grove English Communication I	出版社	文英堂		
副教材	英単語ターゲット1400 (旺文社)						

## 学習の到達目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けることができる。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を理解したり、これらを伝え合う力を身に付けることができる。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

## 授業の概要

- ・本校では、学習の習熟度に応じて習熟度別編成を行い、わかりやすいきめ細かな授業を行います。は同じですが、学習の習熟に応じ、取り扱う問題や指導方法などを工夫します。
- ・授業中は、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを図りましょう。
- ・1年次には、英語学習の基礎を養うことができるよう、予習・授業・復習のサイクルを大切にし、語彙・文法の力を身に付けるために、継続的な学習を心がけましょう。
- ・英語学習を通じて、世界の多様な言語や民族、社会の事象に目を向けることができるよう、さまざまな分野の題材に触れます。
- ・生徒の段階に応じた自律的な学習を支援し、自ら学びに向かう力を育成します。

## 評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括(評定)します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を理解したり、これらを伝え合う力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト(小テスト)・授業時の観察	定期考査・パフォーマンステスト・授業時の観察	学習への参加状況・課題提出状況・振り返りシート・ルーブリックなど
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</li> <li>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</li> </ul> 5 … 十分満足できると判断できるものうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1 学期	Lesson 1	[題材・内容] ・日常表現におけるしぐさについて知る。 ・よいコミュニケーションのために何が必要であるかを理解する。 ・コミュニケーションについて意見を交換したり、説明したりする。 [文型・文法事項] 主部と述部 / 「S+V」 「S+V+C」 「S+V+O」 / 現在・過去・未来を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。・SNSのメリットやデメリットについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	1 学期 中間考査
	Lesson 2	[題材・内容] ・人気のあるペットについて知る。 ・長い歴史における人間とペットの関係の変化について理解する。 ・ペットや動物について意見を交換する。 [文型・文法事項] 名詞句 / to不定詞(名詞的用法) / 動名詞を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	
	Lesson 3	[題材・内容] ・日常のさまざまなシーンにおける結びについて知る。 ・古来、日本人が結びに込めたさまざまな願いについて理解する。 ・結びについて意見を交換したり、意味を説明したりする。 [文型・文法事項] 「S+V+O1+O2」 / 「S+V+O+C」 / 進行形を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	1 学期 期末考査
2 学期	Lesson 4	[題材・内容] ・キノコを用いたいろいろな料理について知る。 ・自然界においてキノコが果たす役割について理解する。 ・日本の森やキノコなどについて意見を交換する。 [文型・文法事項] 現在完了形 / 過去完了形 / 「S+V+O (=that節)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	2 学期 中間考査
	Lesson 5	[題材・内容] ・日常生活で見られる点字等の工夫について知る。 ・点字とデザインについて読み取る。 ・デザインについて意見を交換したり、インタビューに答えたりする。 [文型・文法事項] 受け身 / 分詞の形容詞的用法 / 助動詞を含む受け身 / to不定詞(形容詞的用法)を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	
	Lesson 6	[題材・内容] ・日本人の好きな代表的な料理について知る。 ・食糧問題・環境問題を解決するために代替肉の果たす役割について理解する。 ・食料品生産の新しい技術について意見を交換したり、インタビューに答えたりする。 [文型・文法事項] 関係代名詞(主格) / to不定詞(副詞的用法) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	2 学期 期末考査
	Lesson 7	[題材・内容] ・日本のペットボトルの年間出荷本数の推移について知る。 ・プラスチックごみが海や海洋生物に与える影響について理解する。 ・プラスチックごみが環境に与える影響について意見を交換する。 [文型・文法事項] 比較 / 「It is+～(for～) + to不定詞」 / 「S+V+O1+O2 (=that節)」 / 「S+V+O+to不定詞」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	
3 学期	Lesson 8	[題材・内容] ・マンガで用いられる独特な表現について知る。 ・世界に広がる日本のマンガ文化について理解する。 ・マンガについて意見を交換したり、会話したりする。 [文型・文法事項] 「S+V+O+C(=原形不定詞)」 / 「It is+形容詞[名詞]+that節」 / 「S+V+O(=疑問詞節など)」 / 「S+V+O+C(=現在分詞)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	
	Lesson 9	[題材・内容] ・諸外国の文化の側面を知る。 ・ペトラ遺跡の歴史・文化について理解する。 ・ペトラ遺跡の謎について意見を交換する。 [文型・文法事項] 関係副詞(when, where) / 関係副詞(why, how) / 仮定法過去 / 完了進行形を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	
	Lesson10	[題材・内容] ・家庭からの二酸化炭素排出量の内訳を知る。 ・グレタ・トゥーンベリさんの行動と主張について理解する。 ・環境を守るための活動などについて意見を交換する。 [文型・文法事項] 仮定法過去完了 / 強調構文 / 分詞構文 / 「S+V+O1+ O2(=疑問詞節など)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	学年末考査

# シラバス (外国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

教科	外国語	科目	論理・表現 I	学年	1	類型	商業科
単位数	2	教科書	be Clear English Logic and Expression I	出版社	いいずな書店		
副教材	be 総合英語、be Clear Essetial Workbook						

## 学習の到達目標

- (1) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりするとともに、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる。
- (2) 日常的な話題や社会的な問題について、聞いたたり読んだりしたことを活用しながら基本的な語句や文を用いて、賛成・反対の立場から、意見や主張などを工夫して話して伝えあうことができる。
- (3) 日常的な話題や社会的な問題について、複数の段落からなる文章で書いて伝えることができる。

## 授業の概要

- ・各単元で学んだ文法や語句を使って、自分の考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う力を育成します。
- ・1年次には英語学習の基礎を身に付けることができるよう、予習・授業・復習のサイクルを大切に、語彙・文法の力を定着させるために、継続的な学習を心がけましょう。
- ・英語学習を通じて世界の多様な言語や文化、社会の事象に目を向けることができるよう、多種多様な題材に触れます。多様な世界を知り、視野を広げていきましょう。
- ・授業中は話す・書く活動を中心に、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを図りましょう。

## 評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見や主張を伝えあったり書いて伝えたりするために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。</li> <li>・外国語の語彙、文法、表現などの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を、相手により良く理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題について、聞いたたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見を論理の構成や展開を工夫して話して伝えあったり、書いたりする力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
評価の対象	定期考査・授業の活動への参加状況	定期考査・パフォーマンステスト・授業の活動への参加状況	学習への参加状況・課題提出状況・振り返りシートなど
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</li> <li>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</li> </ul> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの                      4 … 十分満足できると判断できるもの                      3 … おおむね満足できると判断できるもの                      2 … 努力を要すると判断されるもの                      1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとまりごとの評価規準）	定期考査
1 学期	Introduction	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の基本的な構造や品詞について理解し、自分のことを話すことができる。</li> <li>・伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて表現できる。</li> <li>・中学校での既習事項を理解し、人の情報を聞き出すことができる。</li> </ul>	1学期 中間考査
	1st Zone Lesson1~5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身近な人について、現在時制を用いて紹介することができる。</li> <li>・未来を表す表現を用いて、休日の予定を表現することができる。</li> <li>・完了形を用いて、旅行や移動について話ができる。</li> <li>・学習や学校で達成したことについて話すことができる。</li> </ul>	1学期 期末考査
2 学期	2nd Zone Lesson6~9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞を用いて、食文化について表現することができる。</li> <li>・助動詞を用いて、学校生活のことを表現することができる。</li> <li>・助動詞を用いて、日常における依頼の表現を話すことができる。</li> <li>・受動態を用いて感情を表すことができる。</li> </ul>	2学期 中間考査
	3rd Zone Lesson10~15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞を用いて健康や運動について話すことができる。</li> <li>・不定詞を用いて電化製品の紹介や広告を表すことができる。</li> <li>・動名詞を用いて趣味や関心を持っていることを話すことができる。</li> <li>・分詞を用いて、自然や動植物について書くことができる。</li> <li>・分詞を用いてニュースの原稿や出来事の報告を書くことができる。</li> </ul>	2学期 期末考査
3 学期	4th Zone Lesson16~20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞を用いて発明や偉人について紹介することができる。</li> <li>・関係副詞を用いて都市や町の魅力を伝えることができる。</li> <li>・比較表現を用いて、都市と地方を比較して伝えることができる。</li> <li>・比較表現を用いて、ソーシャルメディアの利用について意見を表現できる。</li> <li>・仮定法を用いて、今年度の反省と来年度の抱負を表現することができる。</li> </ul>	学年末考査